【資料３】

**第３８回全国健康福祉祭埼玉大会（ねんりんピック彩の国さいたま２０２６）**

**総合開会式・閉会式基本計画策定業務委託　企画提案書作成要領**

１　提出書類

（１）企画提案書　１５部及び電子データ一式

紙媒体：Ａ４版横型左綴じ

電子データ：Word、Excel又はPowerPoint形式のいずれかとPDF形式の両方

（２）企画提案書概要　１５部及び電子データ一式

紙媒体：Ａ４版横型、片面印刷１ページ

電子データ：Word、Excel又はPowerPoint形式のいずれかとPDF形式の両方

２　提出方法

　　郵送、持参による書面での提出及び電子メールによる電子データでの提出とすること。郵送での提出においては、配達記録が残る書留等で行うこと。電子メールでの提出においては、提出後、電話により送信した旨の連絡をすること。

※　ファイル容量が１０MB を超えるものは、事務局システムの都合により電子メールを受信することができないため、あらかじめ協議すること。

３　提出期限

令和６年１０月１７日（木）１７時（必着）

４　提出先

〒330-9301　埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1（埼玉県庁第三庁舎２階）

ねんりんピック彩の国さいたま２０２６実行委員会事務局

（埼玉県福祉部高齢者福祉課ねんりんピック推進担当内）

TEL：048-830-3215　FAX：048-830-4702　 E-mail：a3240-25@pref.saitama.lg.jp

５　企画提案（総合開会式・閉会式基本計画策定業務）の内容

　　埼玉県内で実施されたイベント等を参考に、「埼玉らしさ」に特に重点を置いた企画提案とすること。

（１）総合開会式基本計画

期　日：令和８年１１月７日（土）

会　場：熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

ア　式典・アトラクション及びその演出運営計画

イ　美術装飾及び仮設物設置計画（おもてなし・物販・おみやげコーナーなどの「ふれあい広場」を含む。）

ウ　会場内及び会場周辺における選手団、式典参加者、一般観客等の動線計画（会場周辺のバス輸送及びバス待機場所を含む）

エ　会場内及び会場周辺の各施設等のゾーニング計画（おもてなし・物販・おみやげコーナー等の「ふれあい広場」を含む。）

オ　上記に係る準備スケジュール（令和７年度、令和８年度）

カ　上記に係る経費内訳（令和７年度、令和８年度）

（２）総合閉会式基本計画

期　日：令和８年１１月１０日（火）

会　場：埼玉会館大ホール

ア　式典・アトラクション及びその演出運営計画

イ　美術装飾及び仮設物設置計画

ウ　会場内及び会場周辺における選手団、式典参加者、一般観客等の動線計画

エ　会場内及び会場周辺の各施設等のゾーニング計画

オ　上記に係る準備スケジュール（令和７年度、令和８年度）

カ　上記に係る経費内訳（令和７年度、令和８年度）

（３）業務実施体制及び本番までの準備スケジュールに関する提案

６　式典素案

企画提案については、ねんりんピック彩の国さいたま２０２６基本構想（以下「基本構想」という。）【参考資料１】を念頭に、次に掲げる事項をふまえた内容とする。

（１）基本的な考え方と演出方針

ねんりんピック彩の国さいたま２０２６総合開会式・閉会式基本計画策定業務の実施方針（以下「実施方針」という。）【参考資料２】のとおり。

（２）総合開会式

ア　会　場　　熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

　　　　　　　※荒天時は熊谷スポーツ文化公園くまがやドーム。

イ　期　日　　令和８年１１月７日（土）

ウ　時　間（予定）　９：００頃（開場）～１３：００頃（終了）

エ　式典参加者（予定）

（ア）選手・監督・役員　　約１０，０００人

（イ）一般観客・招待者等　約５，０００人（演技者含む）

合計　約１５，０００人

※荒天時は選手団・招待者・実施本部員等を含め、１，０００人～１，５００人程度を想定。

オ　総合開会式の構成

（ア）式典前アトラクション

　　　　　これから始まる開会式に向けて、雰囲気を盛り上げる内容とする。

（イ）式典

　選手や演技者等がともに参加することにより、世代間交流が図られる式典運営を演出する。

ⅰ　開式通告

ⅱ　各旗入場

国旗、大会旗、県旗、交流大会会場地市町旗が入場する。

ⅲ　選手団入場

参加選手の体力を考慮したゆとりある行進としつつ、短時間で終了するよう工夫する。また、整列後の選手の負担軽減策も講ずること。

ⅳ　開会宣言

ⅴ　国旗、大会旗、県旗掲揚

参加者全員（観客含む）による国歌斉唱または国歌独唱を行う。

ⅵ　主催者等あいさつ

ⅶ　歓迎のことば

ⅷ　皇族のおことば

ⅸ　炬火点火

　・　熊谷スポーツ文化公園陸上競技場には炬火台がなく、既設設備では炬火点火ができないため、新たに炬火台と点火部分及び燃料系統等、点火に必要な設備を整える必要がある。炬火台は、陸上競技場のフィールド上にステージを設置し、その上に仮設することとする。また、炬火台のサイズは、H1,250×φ600mm程度とする。これらを踏まえ、ステージを含む炬火台のイメージ図や炎の大きさ、安全性といった特徴を併せて提案すること。その際、５（１）カの経費内訳には点火に必要な設備を含む炬火台作成等に要する費用を明記すること。

　・　ねんりんピック彩の国さいたま２０２６開催に向けた県民一人ひとり及び選手の「想い」が、世代を超えて繋がるような演出となるよう考慮すること。

ⅹ　「咲き誇れ！ 長寿と笑顔 彩の国」埼玉宣言（仮称）

ⅺ　選手団移動

　迷いや転倒事故が起きないようゆとりを持ちつつも、選手団がフィールドから迅速に退場し、スムーズに観客席に着席できるよう考慮する。

※　閉式通告は、メインアトラクション後となる。

（ウ）インターバル

式典終了後の選手団の観客席への移動時間や一般観客の休憩時間等を考慮しながら、メインアトラクションに期待を抱かせる展開を図る。

（エ）メインアトラクション

基本構想及び実施方針等に基づき、大会テーマである「咲き誇れ！ 長寿と笑顔 彩の国」を表現するとともに、埼玉の魅力を全国に発信し、参加者が元気になれる内容とする。

カ　ふれあい広場（おもてなし・物販コーナー・ステージイベント等）

（ア）県外からの参加者が埼玉の魅力に触れ、また、県内の参加者も埼玉の魅力を再発見し、大会を楽しめる「おもてなし」の場を展開する。

（イ）選手団が会場到着から入場待機まで、また、式典終了から各交流大会会場地への出発までの時間を有効に活用できるタイムスケジュール及び動線とする。

キ　その他

（ア）選手団手荷物預かり所を設け、その保安対策及び円滑な対応に配慮する。

（イ）熊谷スポーツ文化公園は、国体の開・閉会式会場をはじめ、数多くの大会で使用されている会場であり、その特性を理解し、利点を最大限に生かすことで、選手団の移動や式典参加に際し、迅速かつ負担が軽減される手段をとることとする。

（ウ）選手団は、実行委員会が手配する計画輸送バスによって総合開会式会場に入り、式典終了後、各交流大会会場地へ移動することを前提とする。

（エ）皇族に対するロイヤルボックスの設置に留意するなど、皇族の御臨席に十分配慮する。

（オ）既存設備を有効活用することで、仮設物の設置はロイヤルボックス周辺やトイレなど、大会運営に必要最小限ものとすることを基本とする。

（カ）荒天時の総合開会式会場として想定しているくまがやドームは、総合開会式翌日から始まるソフトテニス交流大会の会場予定となっている。総合開会式終了後、直ちにソフトテニス交流大会の会場設営を開始する必要があり、円滑な業務の引継ぎが必要となるので、留意しておくこと。

（３）総合閉会式

ア　会　場　　埼玉会館大ホール

イ　期　日　　令和８年１１月１０日（火）

ウ　時　間（予定）　１２：１５頃（開場）～１４：００頃（終了）

エ　式典参加者（予定）

（ア）選手・監督・役員　　約　　６００人

（イ）一般観客・招待者等　約　　６００人

合計　約１，２００人

オ　総合閉会式の構成

（ア）式典

ⅰ　開式通告

ⅱ　大会メモリアル映像

ⅲ　メインアトラクション

ⅳ　選手団代表入場

　各選手団の代表が各旗を持って入場するので、時間短縮を図る工夫を行う。

ⅴ　主催者等あいさつ

ⅵ　大会旗引き継ぎ

　次期開催地である東京都の代表に、大会旗を引き継ぐ。

ⅶ　次期開催地あいさつ

ⅷ　次期開催地（東京都）紹介

ⅸ　グランドフィナーレ

ⅹ　閉式通告

　　「ⅲ　メインアトラクション」及び「ⅸ　グランドフィナーレ」は、基本構想及び実施方針等に基づき、大会のフィナーレを飾るにふさわしく、埼玉の魅力を表現し、県外からの参加者に、再び埼玉県を訪れたいと思わせる内容とする。

また、感動を与えてくれた選手への賞賛の気持ちを表すとともに、大会を支えてくれ

たボランティア等への感謝の気持ちを表す内容とする。

カ　その他

　　（ア）会場となる埼玉会館では、当日の午前中にねんりんピック関連イベントとして講演会等を開催する予定であるため、会場内の準備や引継ぎなどの転換には、特に注意すること。

（イ）選手団手荷物預かり所を設け、その保安対策及び円滑な対応に配慮する。

（ウ）選手団は、自由集合及び自由解散することを前提とする。

７　企画提案にあたっての留意事項

（１）提出できる企画提案書は、１案とする。

（２）一度提出した企画提案書等はこれを書き換え、引換え又は撤回することができない。

（３）提出された企画提案書が次項に該当するときは、無効となる場合がある。

ア　虚偽の内容が記載されているもの

イ　企画提案書の内容や提出方法等が、本要領の規定に適合しないもの

（４）可能な限り経費節減に努めるとともに、限られた予算の中で最大限の効果が期待される計画とすること。